NPO法人北海道歩くスキー協会

令和6年度前期･後期

令和6年6月16日～令和7年5月18日予定

第50回記念　道民・札幌市民歩くスキーの集い兼
第11回　滝野公園クロスカントリースキー記録会

1、日　時：　令和7年2月24日（月・祝）　9：15～15：00
2、場　所：　滝野すずらん公園　常設3kmコース、6kmコース
3、コース：　記録会　6km、12km、18km　歩くスキー3km、6km、12km
区間内工事に伴い12km、18km種目は6kmコース周回です。
12km（6kmX2周）、18km（6kmX3周）
4、天　候：　快晴、　気温―5℃、雪温―10℃、積雪91cm
5、参加人員：　117名
6、内　容　：
●滝野公園でのシーズン・フィナーレの大会であり、今年度はコース区間内工事に伴い、11km / 17kmコースを閉鎖したため、本大会の一部種目は6kmコース周回での距離設定に変更する形での開催となりました。
また、安全管理を目的に
【XC記録会】は午前開催、【歩くスキーの集い】は午後開催
に変更し実施致しました。

●快晴のもと力強い滑りでつどいの森をスタートし、爽快な汗を流しました。
　また、道内外から8歳から93歳の幅広い年齢層の参加者が、技術や体力に合わせて思い思いのペースで晴天の下、自然豊かな園内のコースを快走いたしました。

●昨年11月50周年式典を迎えて、今年度もってこの大会は、終了することが決定していました。協会は長年にわたり、歩くスキーの普及と道民市民の健康増進に貢献してきましたが、スタッフ・会員減少、高齢化などの理由で解散することになりました。

●最後の大会に参加した選手の「終了への一言」は次の通りです。

＊毎年参加している60代の男性は、長年続いてきた大会が廃止される事に対して寂しさを感じています。長い間ありがとうございました。

＊涙ぐんで40代女性は両親と子供の頃から参加した大会が無くなるのは今日知りました。私がスキーのきっかけを作ってくれた大会で残念です。

＊この大会で家族と参加し過ごした時間は一生の宝物です。
　今日は沢山記念写真撮りました。

＊寒い冬の日に仲間と一緒に楽しんだスキーの思い出は、心の温もりとしていつまでも残ります・・本当にありがとうございました。

皆さん率直な気持ちで感謝の言葉で一杯でした。
多くの選手が、この大会を通じて素晴らしい思い出を作り、友人、家族の絆を深めたことを感じました。
本当に長い間参加して頂き又沢山の思い出ありがとうございました。

●当日大会はUHBのテレビ取材があり、昼のニュースで紹介されました。
又21日北海道新聞の朝刊には「スキーと歩んだ半世紀に幕」の記事、
25日の朝刊でも当日の大会様子が掲載されました。

滝野公園東口

北海道新聞からのお知らせ

第50回記念道民・札幌市民歩くスキーの集い兼第11回滝野公園クロスカントリースキー記録会

◇期日　2月24日（月）午前10時

◇会場　国営滝野すずらん丘陵公園（札幌市南区滝野247）

◇種目・参加料　▽歩くスキー＝3キロ、6キロ、12キロ。一般2200円、高校生1200円、中学生以下700円▽記録会＝6キロ、12キロ、18キロ。各高校生以上男女、中学生以下男女。高校生以上2700円、中学生以下1700円。いずれも中学生以下は保護者の同意、小学生以下は引率者が必要◇

申し込み　1月27日までに所定用紙で郵便振替かインターネットで。道歩くスキー協会（札幌市中央区南8西2　市民活動プラザ星園内）などへ持参も可◇問い合わせ　同協会、電話011・532・7160（火・水・金・土の午前10時～午後4時）

主催　北海道歩くスキー協会

共催　北海道新聞社、国営滝野すずらん丘陵公園、SPAC滝野管理センター

北海道新聞に掲載された募集広告

国営滝野すずらん丘陵公園

J-CHIP

第50回記念

道民・札幌市民歩くスキーの集い

兼

第11回

滝野公園クロスカントリースキー記録会

開催日

2025年 2/24 祝 (月)

会場 国営滝野すずらん丘陵公園内 つどいの森

参加者募集中

申込締切

郵便振替・インターネット申込 2025年1月27日(月)

直接申込 2025年1月27日(月)

【重要】
工事に伴う冬季利用制限のお知らせ

!!

今年度はコース区間内工事に伴い、【歩くスキーコース 11km / 17km】は閉鎖いたします。そのため、本大会の一部種目は6kmコース周回での距離設定に変更する形での開催となります。予めご了承ください。詳細は中面及び裏面をご覧ください。

参加料金

記録会		歩くスキー	
●一般	1人 2,700円	●一般	1人 2,200円
●中学生以下	1人 1,700円	●高校生	1人 1,200円
		●中学生以下	1人 700円

参加特典 特別記念品・飲みもの

主催 NPO法人北海道歩くスキー協会
共催 北海道新聞社、国営滝野すずらん丘陵公園、SPAC滝野管理センター
後援 北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、(一財)札幌市スポーツ協会、北海道中央バス株式会社
協力 札幌市スポーツ救護赤十字奉仕団

第50回記念 道民・札幌市民

歩くスキーの集い

兼

第11回 滝野公園

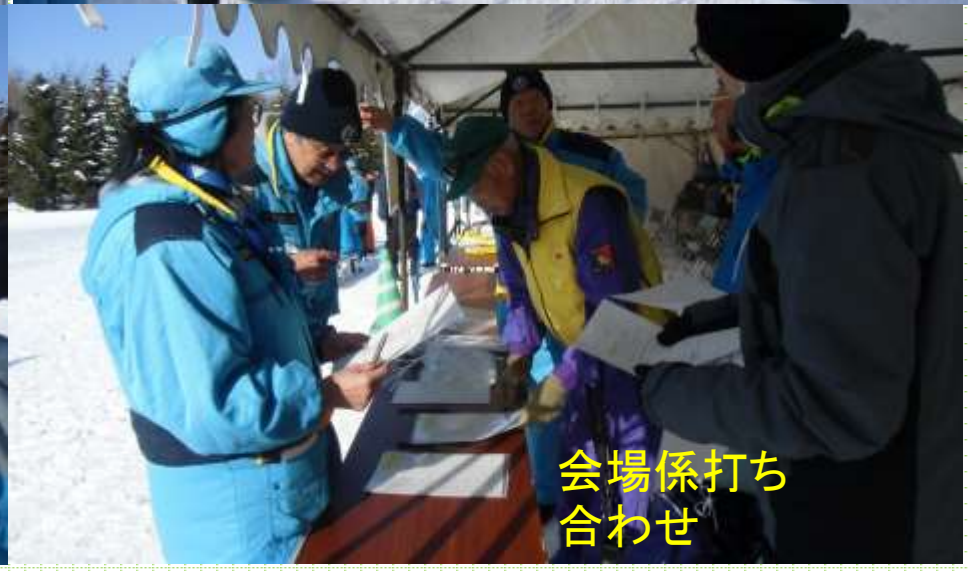
クロスカントリースキー記録会

2025年 2/24 祝・月

国営滝野すずらん丘陵公園

主催／NPO法人北海道歩くスキー協会
共催／北海道新聞社、国営滝野すずらん丘陵公園、SPAC滝野管理センター
後援／北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、(一財)札幌市スポーツ協会、北海道中央バス(株)
協力／札幌市スポーツ救護赤十字奉仕団

募集パンフレット（左）当日配布した
プログラム兼参加者名簿（右）



8:45・・開催前の全体ミーティングとその後各部門打合わせ

受付係会場・完了

受付開始①

受付開始②

午前の部・記録会

開催前に北海道新聞の取材受ける各staff

新しく作成された看板（上）　　出発前のスキー・雪質を確認する各選手（下）

9時45分記録会開会式

（右）丸山大会長挨拶

（左）岡本センター長

挨拶

注意事項・・山本運営長

開会式9:45～・・参加人数・・・記録会73名

UHB北海道文化放送テレビ取材

準備体操・・指導は田原顧問（右）

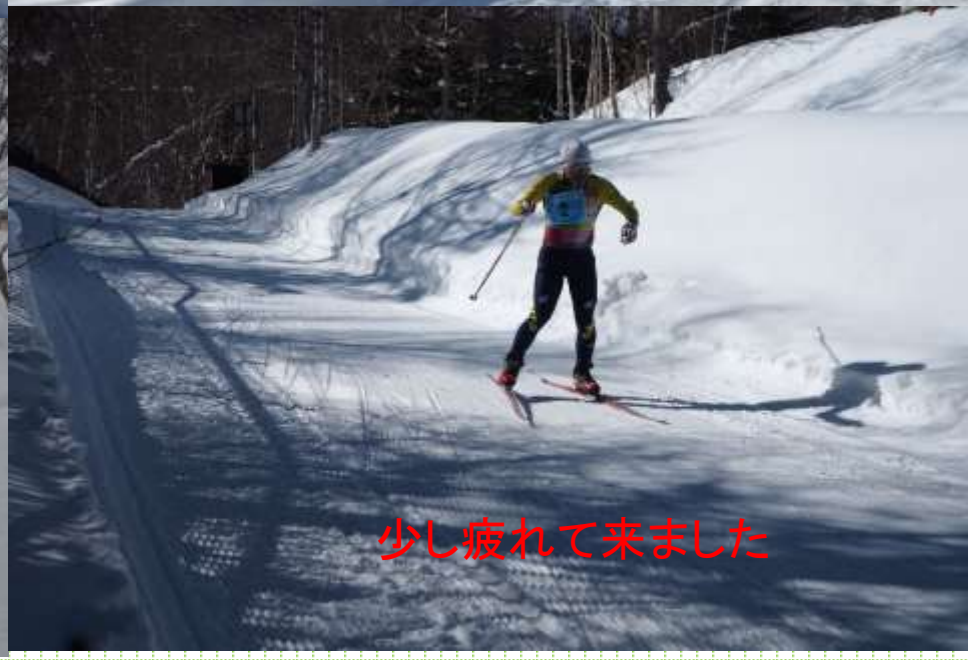
スターター

10:00記録会18kmスタート

12km記録会スタート時・スタート後

6kmスタート直後

6km記録会スタート瞬間



各コースでの1コマ・・

ゴールしましたタイムは・・・

ゴール待つ仲間と・・

テレビ取材受ける12km参加選手

記録会表彰式各選手喜びの表情

表彰されて仲間で記念写真・・・

午後の部・歩くスキー１２：１５受付開始しました

午後の部歩くスキー開会式

丸山大会長挨拶

12:45開会式

岡本センター長挨拶

開会式・・後方から撮影

ラジオ体操・・後方から撮影

田原顧問

スターター：丸山大会長・浜島名誉大会長

歩くスキー12kmスタート前

13時・・歩くスキー12kmスタート直後①

歩くスキー12kmスタート直後②

歩くスキー6kmスタート直後①

歩くスキー6kmスタート直後②

3kmスタート直後①

803
3kmスタート直後②

周回コース行く選手・・

6kmコースを行く

6km完走しました

3km完走

疲れてゴールで転びました

ゴール後ドリンクを飲む選手

疲れました

家族でコール

第50回記念道民・札幌市民歩くスキーの集い兼第11回滝野公園クロスカントリースキー記録会・・・スタッフ全員で最後の記念写真

50年の歴史に幕を下ろました
各人が記念写真撮影・・

テントも解体し・・最後の挨拶で全て終了しました

北海道新聞
2025年（令和7年）2月21日（金曜日）

スキーと歩んだ半世紀に幕

北海道協会 会員減や高齢化

NPO法人「北海道歩くスキー協会」（札幌）が活動に幕を閉じる。道民の健康増進を狙い、昨年11月に50周年を迎えたが、会員数の減少や高齢化で活動を続けるのが困難になった。24日に開く「第50回記念道民・札幌市民歩くスキーの集い」が最後の活動となる。

「歩くスキーで健康づくりをするという精神は今も昔も変わらない。これからは個々で楽しんでほしい」。丸山光徳理事長は国内のスキー・スノーボード人口が減少の一途をたどる中での活動終了にこう話す。

同協会が主催する24日の「歩くスキーの集い」は、同時開催の第11回滝野公園クロスカントリースキー記録会と合わせて117人が参加する。中学生以下の応募も複数あったという。

同協会は札幌五輪で市民のウインタースポーツ への関心が高まったこと を機に1974年に発 足。設立当時は会員78人、多いときは千人以上の会員がいた。冬の歩くスキー大会をはじめ、夏は登山会などを開き、年間を通して活動してきた。2008年にはNPO法人化し、全道で最大規模の大会「札幌国際スキーマラソン大会」の主催に加わった。

しかし、NPO法人化より以前の04年ごろをピークに会員数の減少が続き、本年度は41人にまで減った。会員の平均年齢も76・4歳（昨年度末時点）と高齢化。運営する大会はコロナ禍前の10以上から半分以下に。イベントの開催機会も減るなど、活動規模が縮小していた。

池内勝治事務局長（75）は協会の活動を振り返る冊子を手に、「もともと40周年の時点で『50周年まではなんとか続けようね』という話をしていた。ピリオドを打つにはいいタイミングだった」と振り返る。後継団体は置かないという。

（山中龍之助）

国営滝野すずらん丘陵公園で開かれた道民・札幌市民歩くスキーの集い。今回は50回目の節目となる＝2024年

「今後は個々で」24日、最後の集い

北海道新聞掲載されました

好天の歩くスキー 心地よい汗

札幌・滝野で「道民・市民の集い」

クロスカントリースキーを楽しむ「第50回記念 道民・札幌市民歩くスキーの集い」が24日、札幌市南区の滝野すずらん丘陵公園で開かれた。晴天の下、愛好者らが自然豊かな園内のコースを走り抜けた。

青空の下、クロスカントリースキーで汗を流す参加者（亀中直樹撮影）

NPO法人北海道歩くスキー協会（札幌）が主催し、北海道新聞社などが共催。

歩くスキーは3～12キロの3部門、タイムを計測する「クロスカントリースキー記録会」は6～18キロの3部門などに道内外から8～93歳の計117人がエントリー。それぞれのペースで起伏あるコースを楽しんでいた。

記録会の6キロ一般男子の部で1位に輝いた、スキー歴約40年の旭川市の会社員安藤裕幸さんは「天気も良く、素晴らしいコースで走りやすかった。目標の20分を切ることができて良かった」と話した。

同協会は札幌五輪で市民のウインタースポーツへの関心が高まったことを機に1974年に発足。丸山光徳理事長(66)は開会式で、本年度内に協会を解散する予定だとし、「これからもクロカンや歩くスキーを行い健康に努めてほしい」と呼び掛けた。

（竹田菜七）

主催協会は解散へ 愛好者に継続呼び掛けも

北海道新聞2月25日朝刊に大会について記載されました

ご　挨　拶

NPO 法人北海道歩くスキー協会
理　事　長　丸　山　光　徳

本日は、第 50 回記念道民・札幌歩くスキーの集い・第 11 回滝野クロスカントリー記録会にご参加いただきまして、有難うございました。

道民・札幌市民歩くスキーの集いは、本日の大会におきまして 50 回という節目の大会を開くことができましたのは、参加者の皆様、大会の運営に携わる方々、大会会場を整備していただきました方々のおかげでございます。第一回の大会は、昭和 51 年(1976 年)1 月 15 日に西岡距離競技場で行われ、410 名の方が参加されました。初めの 6 年間は、年に 2 回大会が行われていました。その後 10 年ぐらいは、参加者が 1000 人から 1500 人の間で推移していました。平成に入り各地にいろいろの大会ができ、参加者は、300 人に下回るようになってきました。令和に入ってからは、100 人前後の参加者になっております。

残念ながら、本日の 50 回大会をもちまして最後の大会とさせていただきます。長い間、参加を頂きまして有難うございました。

道民・札幌市民歩くスキーの集いを主催して来ましたNPO 法人歩くスキー協会は、1974 年(昭和 49 年)北海道トリム札幌歩くスキークラブとして発足し、1977 年(昭和 52 年)北海道歩くスキー協会、2008 年(平成 20 年)NPO 法人北海道歩くスキー協会と名称を変更し今日に至っております。今年度、創立 50 周年を迎える事ができました。昨年 11 月 30 日に創立 50 周年記念祝賀会を行いました。

残念ながら、本年度の活動をもちまして、活動を終了し解散することになりました。長い間、大会に参加されました方、協会の会員と活動していただきました皆様方にこの場を頂きましてお礼を申し上げます。なお、協会のホームページがありますので、この機会に閲覧していただければ幸いです。

最後の大会　丸山光徳理事長のご挨拶

令和6年度「白旗山スノーハイキング」

1、日　時：令和7年3月16日（日）　09：30～11：30

2、場　所：白旗山競技場歩くスキー常設コース

3、コース：歩くスキー及び参加人数：
- 常設コース　4.5Km　6名
- 常設コース　3.7Km　3名
- スタート地点（ゴール地点）　周回コース　1名

4、天　候：くもり、気温1℃、雪温0℃

5、全参加人数：歩くスキー 10名、スノーシュー 11名　合計21名

6、内　容　：
- 歩くスキー協会と全日本ノルディック・ウオーキング連盟のスノーシューの皆さんとで共同実施致しました。

●開会式で会長の挨拶後、全員でストレッチ体操を行ない歩くスキーとスノーシューのグループに分かれ出発しました。

●薄日が差す程度の曇り空でしたが風もなく、スキーシーズンを締めくくるのに相応しい穏やかな天候で実施することができました。
また、３月も中旬となり春の陽気が続いておりましたが、金曜・土曜日と降雪がありコース整備も整っており、素晴らしいコンディションで歩くスキー　を楽しみました。

●ネットで申し込みをした初めての参加者は、住まいの近くで何回か歩くスキーを経験しているが「多くのコースを体験したい」とのことで、これからは「白旗山のコースにも何度か来てみたい」と話していました。

●４．５kmに参加した70代男性は自然の美しさと静けさを存分に楽しめる体験で、春の訪れを感じることができました。

●80代参加者は競技場周辺では、広大な雪原がまだ広がり、まるで絵画のような風景が目の前に広がり、自然の中でのリフレッシュと、心地よい疲労感が得られ、心に残る感動を与えてくれました。

令和６年度「白旗山スノーハイキング」

開催日：令和７年３月１６日（日）

１．参加者

（１）全日本ノルデック・ウオーク連盟スタッフ、１３名「スノーシュー」

江川　淳　江川　美紀子　森井　隆　田中　誠　遠田　美恵子　森　紅美香
川瀬　忍　藤本　啓治　佐藤　有子　細倉　勉　長畑　昌弘　小山　茂
北村　晋逸

（２）北海道歩くスキー協会、１０名「歩くスキー」

運営長　清野　守　医師　井本　龍彦

３．７ｋｍ（常設コース）

清野　守　斉藤　修二　水上　知子　水上　卓也

４．５ｋｍ（常設コース）

佐々木　和夫　井本　龍彦　葛西　直登　菊池　清　中村　進　前田　泰彦

１名「スノーシュー」

高橋　唯歌

白旗山スノーハイキング時間計画

2．予定時間

09：30　白旗山競技場　集合

09：40　受付、開会式、コース確定、ストレッチ体操

10：00　スキー及びスノーシューの準備

10：10　白旗山競技場　出発

11:20
~~12：30~~　各コースから白旗山競技場　到着、ストレッチ体操

11:30
~~12：40~~　白旗山競技場　解散

白旗山競技場歩くスキー常設コース図(4.5km)

受付・・九時・開始・・準備完了

開会式・・9:40開始

ノルデックウオーキング連盟・・挨拶する江川淳理事

注意事項等・・清野運営長

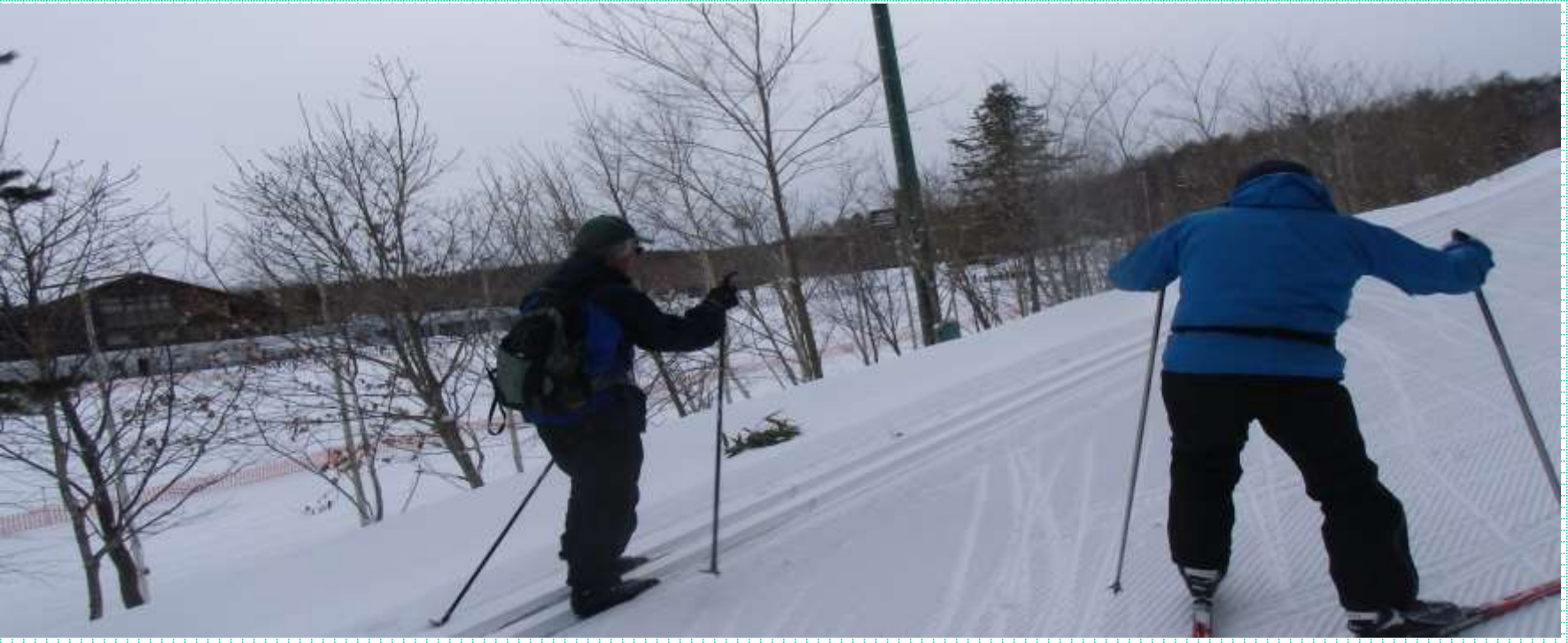
念入りな準備体操

ストレッチ体操

出発前のスノシュー組記念写真

スタートするスノシュー組

歩くスキー組のスタート



坂道のコースは辛い・・・一歩ずつ前進のみ・・・

コース整備も整っており、素晴らしい・・4．5kmコース

スタート後の最初の上り坂3.7kmコース組

その後順調に進んでいます・・3.7kmコース

マイペースで・・4.5kmコース

体力を使い・・少し疲れました

自然の美しさと静けさを存分に楽しみながら・・・（上・下）

コース沿いの冠雪した木々の景観・・・

最後の坂一気に登ります･･･4.5kmコース

後続を待つ･･

3.7Kmコースの最後の上り坂

春が近い事を実感しながら思い思いの滑り方で‥

ゴールも間近に見えて来ました・・・自然の中でのリフレッシュと、心地よい疲労感が得られ、心に残る感動を与えてくれました・・・その先ゴールです

最後に集合記念写真を撮り解散・・皆さん満足でした・・